



130×90cm紙芝居と詩的音楽の融合!

大人も楽しめる
おんがく
紙芝居ライブ

超大型

もろはしせいこう

おんがく

作曲
桑原 ゆう

2025

9月7日

13:30開場 14:00開演

会場 プリモホールゆとろぎ 小ホール
(羽村市生涯学習センター)

紙芝居



●チケット取り扱い

チケット発売開始 6月17日(火)～

プリモホールゆとろぎ窓口(9:00～17:00)
(月曜休館。ただし祝日は開館)

ゆとろぎインターネットチケットサービス
(要利用登録(無料))



●入場料 大人 1,000円(当日1,500円)

高校生以下(小学生～高校生) 500円 *未就学児の入場はできません。

【全席指定】定員252名(車椅子席あり)

●お問い合わせ

プリモホールゆとろぎ(羽村市生涯学習センターゆとろぎ)

TEL 042-570-0707

主催:羽村市教育委員会 企画運営:ゆとろぎ協働事業運営市民の会

もろはしせいこうの40年間にわたる超大型紙芝居活動が最後の最後にたどりついた音楽紙芝居。芥川也寸志サントリー作曲賞受賞の作曲家桑原ゆう氏が手がける詩的音楽と、90cm×130cmの超大型紙芝居が四つに組んで、みなさんを今まで経験したことのない紙芝居世界へとお連れします。日本独自の表現形式である紙芝居の、舞台芸術としての可能性に挑みます。(諸橋精光)

●演目 **注文の多い料理店** **こがねの舟** **セロひきのゴーシュ** **やまなし**

●出演
 〈語り〉 菊池 好江 柴田 友樹
 福島 梓
 〈チェロ〉 佐藤 翔
 〈クラリネット〉 西村 薫
 〈フルート〉 丁 仁愛
 〈ヴァイオリン〉 鈴木絵由子
 〈引き手〉 諸橋 香也子
 (事情により変更することがあります)



●脚本・作画 諸橋精光 (もろはしせいこう)
 絵本・紙芝居作家。1954年、長岡市生まれ。創形美術学校造形科、大正大学仏教学部卒業。20代後半より仏教説話を中心とした絵本・超大型紙芝居の制作を始める。プラティスラヴァ世界絵本原画展出品、ボローニャ国際絵本原画展入選。高橋五山賞、正力松太郎賞、土屋文明記念文学館賞など受賞多数。千手観音千蔵院住職。

●作曲 桑原ゆう (くわばらゆう)
 作曲家。1984年生まれ。東京藝術大学卒業、同大学院修了。国立劇場、ルツェルン音楽祭等、国内外で多くの委嘱を受け作品を発表。日本の音と言葉を源流から探り、文化の古今と東西をつなぐことを主なテーマに創作を展開。2021年第31回芥川也寸志サントリー作曲賞受賞。現在、国立音楽大学、洗足学園音楽大学講師。https://3shimai.com/you/

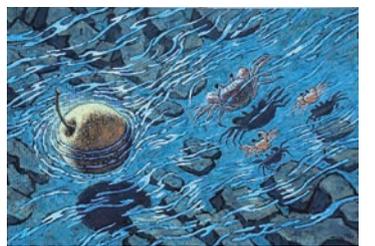
〈演目紹介〉

注文の多い料理店 原作／宮沢賢治
 東京から狩猟にきて、山で迷ってしまった二人の紳士の前にあらわれた西洋料理店。扉には「ここは注文の多い料理店です」と但し書き。はやっている店に違いないと中に入ると、次から次へとおかしな注文が…。クラリネットが山猫の魔力の世界を軽妙に描きます。

セロひきのゴーシュ 原作／宮沢賢治
 音楽会が間近なのに、ゴーシュはあまりに下手なため楽長にしかられてばかり。そんなゴーシュの家に毎夜動物がやってきます。ゴーシュの心の解放を描く賢治の代表作。出版紙芝居に11枚の絵を加えて劇場版音楽紙芝居へと進化させました。チェロのソロ。

こがねの舟 原作／あまきみこ
 目をつぶされた武将と幼子は梶も櫓もない舟にのせられて湖の真ん中におきざりにされます。夕方、幼子は輝く湖面に無数の小さなこがねの舟を見つけました。それらは舟に集まり、岸に向かって舟を運び始めます。フルートとヴァイオリンとチェロのトリオ。

やまなし 原作／宮沢賢治
 幼い沢ガニの兄弟がすむ川底の世界の詩的なスケッチ。5月は陽光きらめく中に生存の怖れを、11月は冷たい月光の中に自然の恵みと安らぎを描きます。国語の教科書にものっている美しい童話です。チェロとクラリネットによるアンサンブル。



●チケット料金
 大人 1,000円(当日1,500円)
 高校生以下(小学生～高校生) 500円
 *未就学児の入場はできません。
 【全席指定】定員252名(車椅子席あり)

●お問い合わせ
 プリモホールゆとろぎ(羽村市生涯学習センターゆとろぎ)
 TEL 042-570-0707
 (月曜休館。ただし祝日は開館。)

会場 プリモホールゆとろぎ

